



三木高大 自治会新聞

平成 28 年 9 月号 (No. 125)

発行 三木市高齢者大学学生自治会

発行責任者 自治会会長 金丸 正

編集者 自治会新聞編集委員会

発行日 平成 28 年 9 月 8 日

<http://koureisyaigaiku.cccp.jp>

7月の教養講座から

三木市の歩み ～「これまで」と「これから」～

講師：三木市長 藪本 吉秀 様

市長就任後 10 年となる節目の年に、過去 10 年を振り返りつつ、現状分析と課題を整理し、これからの 10 年を見据えた諸施策を、非常に分かりやすく解説して頂いた。

三木市は、人口減少や地価下落による財政破たんが予測されたため、5 年間に亘る「財政危機宣言」を行い、企業誘致、交付税増額、市民病院の統合、人件費カット等、多面的施策によって 100 億円超を改善し、財政基盤の強化を図るとともに、交通の利便性向上、子育て支援などにも取り組んできた。

現状では、近隣自治体に比べ、まだ人口減少率や年少人口減少率が高く、若い世代を呼び込み、世代間のバランスを整えることが必要である。具体的には①高速道路網を利用した、拠点連携による集客力向上や、雇用創出による「地域経済の活性化」②緑が丘の再生をモデルとした、多世代がバランスよく共生できる「住環境の整備」③若い女性が安心して生活できる「子育て支援の充実」の 3 施策を中心にして、「適正な人口バランスの確保と、多世代が共生する住みよいまち作り」の実現を目指す。

成果を上げつつあるまち作りの今後に期待を抱かせるとともに、高齢者の役割は何かを考えさせられる講義であった。



3年5班 渡邊 昶彦

意見発表会の報告

高大の恒例行事となっている意見発表会が 7 月 28 日、北井副市長をはじめ松本教育長ら高大運営委員の方々を来賓に迎え、盛大に開催されました。各学年の代表 8 名が、「学びと生きがい」をメインテーマに、約 5 分の持ち時間内で、これまでの長い人生において経験してきたことや学んできたこと、生きがいなどを個別テーマにしてまとめ発表されました。



それぞれに素晴らしい発表で、感動する内容に聞きほれ、思わずうなずいたり涙ぐんだりする人もあり、私自身もこれからの生き方の教訓として、生かされたいと思いました。貴重な人生経験を発表していただいた発表者のみなさん、本当にいいお話をありがとうございました。

発表会後の運営委員会において審査が行われ、3 年 2 班の藤村末雄さんが、10 月 14 日に三木市文化会館で開催される「東・北播磨学び高齢者のつどい」の高齢者主張大会に、三木市代表として出場されることが決定しました。(3 面に関連記事)

教務主任 井上 達夫

今回の旅行をかえりみて思う事は、楽しい事は早く過ぎ去ってしまうということだ。

旅立ちには早朝でもあり、前夜は緊張してよく寝られず、寝不足という人がほとんどであろう。胸を膨らませ、8時5分神戸空港を出発。新千歳空港からバスにて登別へ。そして、昭和新山山麓駅から有珠山山頂駅へのロープウェイでは洞爺湖の素晴らしい景観が望めた。

最初の宿は、洞爺湖温泉である。五つ星のこの宿では、全室洞爺湖が見えるように配置されており、湖上にての花火大会は、宴会後の各室での二次会を一層盛りあげた。中には、屋上露天風呂の温泉につかりながら、夜空に流れる光と音の競演を堪能したグループもいた。

翌朝は、全員食欲旺盛で、バイキング料理を十二分に味わった後、小樽、余市へと進む。2日目の宿、定山溪温泉での宴会は、またまた盛り上がり、隠し芸は練習が苦になるから辞めようと全員決めていた筈が、隠れて練習したグループがいた。プロ顔負けのその芸に抱腹絶倒した。これが隠した芸というものだろう。

札幌市中央卸売場外市場は海の幸が勢揃い。アレもコレも買いたい。市場内を上手に廻る人達は、カニ、シャケ、ウニ、コンブ等の試食だけで腹一杯。北海道の味を堪能した。これで良いのだ。

全員が元気に出発地の神戸空港に降りた時、ホットすると同時に、良かった、楽しかった、疲れた。DAI(出会い)と「絆」という言葉は本当にすごい力である。この卒業旅行を通じて、今の4年生がオールファミリーへと変身した。今後も機会を作り、集まろうではないか。(三木市高齢者大学 ホームページに詳細記録あり)

4年親睦委員長 浜淵 徹

第25回 体育祭のご案内

日時：9月30日(金) 9時より

場所：三木勤労者体育センター

第25回体育祭が近づいて来ました。今年の体育祭は、大きな変革の年になると考えます。それは応援合戦が廃止されたことです。これまで各学年とも趣向をこらし、大変な労力を注ぎ、夏休みを返上せんとばかりに練習をしてきました。

しかし、学生数の減少により、競技への参加回数が増加したことや、夏休みにおける練習回数の多さに疑問を投げかけられ、全校アンケートを取ることとなりました。その結果、“廃止”の意向が多く、廃止が決定されました。これは体育祭そのものの簡素化も目標にしております。応援大賞はなくなり、トロフィーの授与もありませんが、全てを廃止した訳ではありません。3分の応援タイムを設け、自由な発想で、華美にならないよう、簡素化を旨とした応援をして頂きます。

また、競技種目につきましては、競技の成り行き上、反則が起こりやすく、競技のしにくい3種目(ボール引きゲーム、バランス歩行レース、風船運びレース)を廃止し、比較的競技のし易いと思われる2種目(ジャンケンリレー、ラケットでボール運び)を新たに追加しました。

最後に、競技は全てに安全を第一とし、出場者全員が怪我なく体育祭が終了するようお願いしております。



第24回体育祭風景

体育祭実行委員長 3年3班 岩瀬 源太郎

みっきい夏まつりと清掃ボランティア

みっきい夏まつり 2016 は、7月30日（土）午後4時から三木総合防災公園において、陸上自衛隊第3音楽隊の演奏でスタート。我が三木市高齢者大学からも大道芸クラブ・太極拳クラブがステージイベントに参加し、猛暑の中で熱演、お祭りの盛り上げに一役買っていました。



翌日の清掃活動には、高大生が89名・大学院、学友会を合



わせて110数名の皆様が参加し、早朝からステージ及び模擬店が設置されていた陸上競技場周辺の清掃区域において、ごみの収集活動を行いました。

三木市からの感謝の意をお伝えします。

ご協力ありがとうございました。

まなびの郷みずほ交流キャンプ

8月9日（火）及び10日（水）の両日、まなびの郷みずほにおいて細川町・口吉川町の小・中学生65名が参加し、交流キャンプが行われました。

ボランティアとして、グラウンドゴルフ・水墨画・大道芸・クックの各クラブ員が真剣に子供たちと向き合って、プログラムに基づく実習を行いました。子供たちには自主性・協調性など、将来的な人間形成を養う貴重な勉強の手助けが出来たと思います。

写真クラブの皆様には、2日間にわたり大量の写真撮影と写真選別等に大変ご苦勞をお掛けしました。

まなびの郷みずほ活用会議関係者一同、無事に交流キャンプを終了したことを心より感謝しています。



第31回 東・北播磨学ぶ高齢者のつどいのご案内

日時：平成28年10月14日（金） 午前10時から午後3時まで

場所：三木市文化会館小ホール（作品展示：大ホール及び小ホールのホワイエ）

プログラム：①式典（主催者あいさつ・来賓祝辞・優秀作品表彰）

②高齢者の主張大会 テーマ：「学びと生きがい」

発表者：三木市代表として、高大3年2班の藤村末雄さん、ほか高砂市・明石市・加東市の各代表から発表があります。

③アトラクション（大道芸・コーラス・民謡踊りクラブが出演予定）

④講演会 講師：落語家「てんご堂雅落」

*作品展示：13日（木）～14日（金） 全204点 当大学クラブは、24点（書の部6点・水墨画6点・写真の部6点・工芸の部6点）が出品される予定です。

ク ラ ブ 紹 介

クッククラブ

「体験入部」をしてみませんか？

クッククラブは、にぎやか・お笑いクッキングをモットーに、諸先輩方が育ててきた楽しいクラブ活動の路線を継承している。現在構成人員は、OB含め合計 16 名が講師と 2 名のアシスタントの指導の下、短時間料理に挑戦している。

古来、日本では「男子厨房に入らず」を美德としていたが、近年、「厨房に入る」男子、食を楽しむ男子が増加している。筆者も身をもってそれを知った。回数を重ねる毎に、レシピを読んで調理する事が出来るようになり、また包丁を握って食材を切ったり、味付けの工夫も出来るようになったと男子部員は喜んでいる。



調理後の楽しい食事

そこで、クッククラブが直面している問題点を、読者の皆さんに知って戴きたい。近年、新入部員が右肩下がりの傾向で、数年後にクラブ存続の危機が予測される。クラブからの提案。「体験入部」をしてみませんか？ 学年を問わず誰でも受け付けます。特に女性の方、大歓迎です。

「皆で作って、皆で食べて、皆で反省して次回に生かす」これがクッククラブ基本理念です。是非、部長までお問い合わせください。

クッククラブ部長 4年1班 藤枝 修

カラオケクラブ

『歌好き人間集まれ！』

暑かった夏も9月に入り、少しは和らいできたように思います。皆様、お元気でお過ごしになられましたか？ カラオケクラブも9月から再開です。「歌は我らの活力だ」をモットーに、活動してまいりました。カラオケには元気をもらって夏バテも吹き飛ばす、そんな力もある様に思います。

私達、部員は現在 1 年生 3 名、2 年生 2 名、3 年生 12 名、4 年生 9 名の合計 26 名です。2 年前に比べますと 14 名も減少しております。

練習は、藤島先生のご指導のもと、個人個人の特徴に合わせて教えて頂きますので、上達すること間違いなしです。



レッスン風景

練習を離れますと、和気あいあいと和やかに仲良しグループに変わります。

今からでも遅くはありません。多くの方の入部をお待ちしております。特に 2 年生、1 年生の方、大歓迎です。

《歌は元気の源です》共に歌いボランティア活動に励み、若返りましょう。

カラオケクラブ部長 3年3班 勝坂 俊夫